

Hikone Castle Museum Exhibitions

彦根城博物館スケジュール

2021.4～2022.3



特集展示 井伊家と近代彦根

資料調査事業完了記念
—井伊家近代文書調査の成果より—

令和3年4月15日(水)～6月14日(日) ※6月8日(火)は休館

学校設立への資金協力など、大名から華族となった近代の井伊家が東京を本拠とした後に行った、彦根での諸活動を紹介します。



貞忠公御筆日記



特別公開 国宝・彦根屏風

令和3年4月16日(金)～5月16日(日)

近世初期風俗画の傑作、国宝・彦根屏風を特別公開します。



風俗図(彦根屏風)



テーマ展 花々の意匠 —四季を彩る—

令和3年5月19日(水)～6月15日(火) ※6月8日(火)は休館

古来、花は人々に愛され、その姿はさまざまなデザインに取り入れられてきました。本展では、梅や桜、蓮、菊など、四季折々の花をあしらった美術工芸品を紹介します。



桜花透文釣籠籠



テーマ展 “写し” —日本美術を読み解くキーワード—

令和3年6月18日(金)～7月14日(水)

日本の美術において、オリジナルをもとに作られる「写し」は、優れた作品の技を学び、伝え、さらには新たな作品を生み出す原動力ともなっています。館蔵品を通して、さまざまな「写し」のあり方と特徴を紹介します。



熊面 獅子口 友水庸久作



企画展 中川禄郎 —井伊直弼を支えた儒学者—

令和3年7月17日(土)～8月17日(火)

中川禄郎(1796～1854)は、井伊家12代直亮、13代直弼に仕えた儒学者です。特に直弼には、藩主としての心得を説き、外国との通商を進言するなど大きな影響を与えました。本展では、禄郎自筆の書や古文書などから、その生涯に迫ります。



中川禄郎画像



テーマ展 茶道具の“いろは”

令和3年8月20日(金)～9月15日(水) ※9月1日(水)は休館

茶道具とは、抹茶をたてて客をもてなす「茶の湯」で用いる道具の総称です。本展では、多岐にわたる茶道具のそれぞれの用途や造形的な魅力を、分かりやすく紹介します。



瀬戸鉄軸茶碗 銘あぼし
青磁胡花牡丹文花生



企画展 奇才の絵師 張月樵 —彦根～京～名古屋への道—

令和3年9月18日(土)～10月18日(日)

彦根出身の張月樵(1765～1832)の作品と画業を紹介します。月樵は、京で四条派の祖・松村月深(呉春)らに学び、名古屋へ拠点を移して当地の代表的な絵師の地位を確立し、尾張徳川家の御用もつとめました。円山四条派の枠を超え、多彩な画風の画を手がけています。



蔡文姬贈漢圖 張月樵筆



特別展 日本の刀装 —刀を飾る技と美—

令和3年10月23日(土)～11月23日(火祝)

鞘や柄、鐔などからなる刀装は、刀身を収め携行するための道具です。刀装には、古くから装飾が施され、その種類は時代が下るにつれて豊かになっていきます。特に江戸時代の鞘塗はバリエーションに富み、漆を使ったさまざまな塗り方に加え、種々の素材を取り合わせた変わり塗が発展しました。

本展では、日本の刀装の変遷を、鞘塗を中心とする装飾に焦点を当てて紹介するとともに、その魅力に迫ります。



金型子地菊紋時給朝糸巻大刀拵

溜塗糸巻鞘大小拵



テーマ展 井伊家近代文書からみる彦根城

令和3年11月27日(土)～12月24日(金) ※12月8日(水)は休館

江戸時代に権力や軍事の拠点であった城は、近代になると地域住民に開かれた公共の場になっていきました。本展では、彦根城の天守が一般に公開されるなど、城が人びとの親しむ場へと転換していく姿を紹介します。



彦根城山行啓御通路図



テーマ展 老いを言祝ぐ —能の世界から—

令和4年1月1日(土祝)～2月2日(水)

古来日本では、多くの年を重ねた尉や姥は、神に近い存在とされてきました。年老いた神が世を言祝ぐ(翁)、相生の松の精の老夫婦が登場する(高砂)など、めでたい能の演目を通して、祝うべき老いの世界を紹介します。



翁扇



特別公開 雛と雛道具

令和4年2月5日(土)～3月7日(日)

井伊家13代直弼の愛娘弥千代(1846～1927)の雛と大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した御殿飾りなどとともを一挙公開。春を告げる恒例の展示です。



弥千代の雛道具



テーマ展 合戦の現場 —井伊家の軍勢と集団戦—

令和4年3月11日(金)～4月12日(火)

室町時代末期になると、敵味方が入り乱れた激しい戦いが各地で繰り広げられました。本展では、将の位置を示す旗や兵に指示を出す采配をはじめ、集団戦で用いられた武具を通じて合戦における井伊軍の実態に迫ります。



紙采配



朱漆塗仏二枚胴具足



徳川譜代大名筆頭 井伊家伝来の名宝の数々

彦根城博物館の展示は盛りだくさん。譜代大名筆頭・井伊家に伝来した大名道具を中心に、日本の美と歴史にせまります。伝来の名宝の中から展示品を順次入れ替え、次々に秘蔵の名品・逸品が登場します。

武家の備え



幽玄の美

数奇の世界



雅楽の伝統

風雅のたしなみ



古文書が語る世界

